

オペラ「沖繩物語」は、多くの企業様、個人様に支えられています

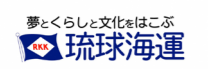
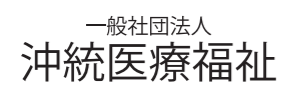
【特別協賛】

地元に全力!

# 沖繩セルラー

OKINAWA CELLULAR

【協賛】



【後援】 琉球放送(株) 琉球朝日放送(株) 沖繩テレビ放送(株) 宮古テレビ(株) (株) 琉球新報社 (株) 沖繩タイムス社 (株) 宮古毎日新聞 毎日新聞社 朝日新聞社 (株) エフエムおきなわ (株) ラジオ沖繩 FM みやこ 宮古島市 宮古島市教育委員会 宮古島市文化協会

【衣装提供】 南水庵

【主催】 那覇市・金井喜久子プロジェクト実行委員会  
沖繩県文化芸術活動の充実及び活用補助金 (首里城機運醸成事業) 採択事業

オペラ

特別協賛 35th 沖繩セルラー電話株式会社  
金井喜久子生誕120年記念

# 沖繩物語

金井喜久子作・作曲 (セミステージ形式)

44年の時を経て  
今甦る幻のオペラ  
沖繩初上演

那覇文化芸術劇場なは一と開館5周年記念事業

2026年12月27日(日) 14:00開場 15:00開演

那覇文化芸術劇場なは一と大劇場

琉球古典の名曲『瓦屋節』をベースにした、切なくも美しいアリアが劇中を彩る —  
琉球メロディと西洋音楽が融け合い、ドラマチックに展開していく金井喜久子の世界。

## ■ 沖縄初上演！ 44年の時を経て幻のオペラが甦る

1982年5月15日 沖縄本土復帰10周年。  
沖縄文化の粋を集めて金井喜久子が制作したオペラ「沖縄物語」は東京で旋風を巻き起こした。  
44年の時を経て、幻のオペラは、ついに沖縄で奇跡の初上演となる。

愛か、国家の未来か —。  
異国の波に消えゆく、琉球一の美女・奈美が下した最後の決断とは

## ■ あらすじ

舞台は、台風と外敵に抗う数百年前の琉球。丈夫な瓦作りができないか、頭を悩ませていた時の為政者たちは、唐から技術者を招くことにした。しかしその条件は「琉球一の美女を娶らせること」だった——。白羽の矢が立ったのは、夫と子どものいる奈美だった。引き裂かれる家族の愛。奪還を誓い、夫と村人たちは空手で立ち向かうが、奈美を乗せた唐船は、無情にも出帆してしまう。ヒロイン・奈美が下した哀しくも強い最後の決断とは。

## ■ キャスト

奈美	砂川 涼子
松金	与儀 巧
宗漢	大沼 徹
役人新城	琉子 健太郎
役人糸満	西條 智之
家来小禄	喜納 響
家来大嶽	龍 進一郎
侍女小春	友利 あつ子
侍女若夏	佐藤 菜穂
侍女美里	糸数 知
窯元山城	徳吉 博之
道化	照屋 篤紀
つる	與那嶺 なつき
かめ	本間 千晶
亀寿	オーディションにより決定
山もも売り	桑江 律子・花燈 明佳・又吉 のぞみ
三良	又吉 秀和
かまで	大城 清貴
アクション・役者	知花 輝・亀島 公輝・宮里 侑和・与那嶺 圭一・崎間 由樹 山内 和将・伊礼 吏輝・竹岡 英大・松田 卓己
空手	喜友名 諒・金城 新・上村 拓也 (劉衛流龍鳳会)
琉球舞踊	琉球舞踊 玉城流いずみ会
合唱	オペラ沖縄物語アンサンブル
管弦楽	一般社団法人 琉球交響楽団



砂川 涼子



与儀 巧



大沼 徹



左から  
喜友名 諒  
上村 拓也  
金城 新

## ■ 金井がオペラに込めた想い

1953年、戦後8年目ようやく沖縄に帰郷できた金井 喜久子。



「全て灰燼と歸し、山河も消えうせたふるさと...  
あまりにも大きなショックであった。  
瓦屋節由来記\*の主人公を通じて、沖縄の置かれている歴史的な運命、  
厳しい現状を、祖国の人々に訴えてみたい」  
(金井 喜久子『ニライの歌』/琉球新報社より)

この想いがのちのオペラ「沖縄物語」の誕生に繋がった。

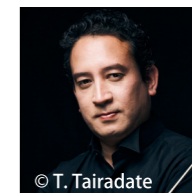
\*時の為政者の命で無理やり家族と引き裂かれ、瓦技術者である唐人の妻にされた女性の悲恋物語。

### 金井 喜久子について

1906年、沖縄県宮古島に生まれる。幼少より沖縄伝統音楽に親しむも、沖縄県立高等女学校(のちの、沖縄県立第一高等女学校)在学中に西洋音楽に触れたことが人生を決定づける。卒業後、東京に出て日本音楽学校の声楽科を卒業したが、沖縄音楽の普及に使命感を抱き、さらに東京音楽学校選科(作曲)(現東京藝術大学)で、下総統一、呉泰次郎、尾高尚忠、平尾貴四男らに学び、日本人の女性作曲家で最初に交響曲を作曲したとされる。以後東京を中心に幅広い分野での活動を精力的に続け、日本交響楽団(現NHK交響楽団)などの演奏による交響曲や室内楽、舞台音楽(宝塚歌劇団公演)、オペラ「沖縄物語」などを次々と発表していった。また、ひめゆり学徒の先輩にあたることから、晩年はひめゆり平和祈念資料館建設のためのチャリティーコンサートを各地で開催。生涯を音楽と沖縄に捧げた作曲家だった。

## ■ スタッフ

指揮	柴田 真郁
演出	粟國 淳
美術	新垣 弘志
衣装デザイン・ヘアメイク監修	押元 須上子
照明デザイン	大島 佑夫
副指揮・合唱指揮	諸遊 耕史(副指揮) 仲本 博貴(合唱指揮)
演出助手	橋詰 陽子 島袋 寛之
アクション監修	多嘉良 カナ
舞台監督	前田 昭夫 大浜 暢裕(舞台補佐)
企画制作	金井喜久子プロジェクト実行委員会 那覇文化芸術劇場なは一と
制作	琉球放送株式会社



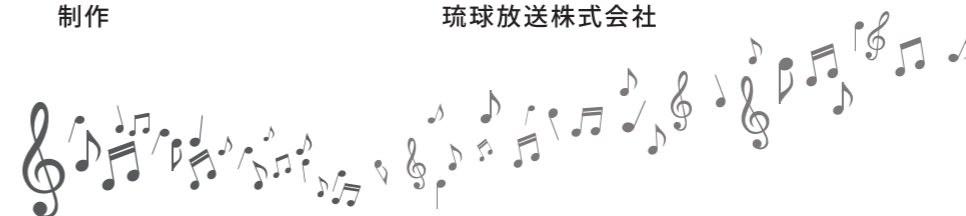
© T. Tairadate  
柴田 真郁



粟國 淳



押元 須上子



**7/19(日) 子役オーディション実施! 応募締切 6/20(土) 17時必着**

オペラ「沖縄物語」の上演に際し、子役出演者オーディションを実施いたします。

募集子役：2名  
亀寿3歳役：小学校3年生くらいまで(面接・セリフテストあり)  
亀寿10歳役：中学1年生まで(面接・歌唱テストあり)

詳細は右のQRコードからご確認ください。たくさんのご応募、お待ちしております!



(1982年公演オペラ「沖縄物語」パンフレットより)

私にやれることといえば、沖縄文化の高揚ですから(中略)、  
オペラでしたら音楽も、舞踊も、さらに風俗、習慣、人情まで幅広く組み込めて  
それらを通して沖縄の文化が、一つの舞台で紹介できるわけです。

全国の主要空港から沖縄へ

オペラ鑑賞券(SS券)・ホテル・航空券(JALグループ便限定)付きツアープラン  
沖縄ツーリストにて先行予約近日開始! 詳細は右のQRコードから▶



2026年7月18日(土) ~  
チケット販売開始!!

公演の詳細・最新情報は右のQRコードから▶

